

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備		路河川名等	(国)141号				
事業毎の通番	1	市町村名	佐久市	箇所名(ふりがな)	雨宮病院前(あめみやびょういんまえ)			
事業概要	事業目的	佐久市により、佐久市下小田切地区(県道上小田切白田(停)線沿)に佐久市臼田地区統合新小学校が令和5年4月の開校に向けて整備を進められている。新小学校の設置により、佐久市臼田地区から下小田切地区へ国道141号を横断する通学路が新たに計画されるが、朝夕の通勤車輻と新小学校へ通学する児童等が錯綜し、交通事故及び渋滞の発生が懸念される。このため、新小学校の開校にあわせて国道を横断する立体横断歩道橋の整備を行うことにより、安全で安心な道路環境の整備を図りたい。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4 生命・生活リスクの軽減(交通安全対策の推進)	事業実施の根拠法令等	道路法				
	関連する事業、計画等	佐久市通学路交通安全プログラム、臼田地区新小学校建設基本計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	現況交通量24,407(台/24h) 計画横断歩行者247(人/ピーク時間)						
	着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	2年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	2022年度(令和4年度)	費用対効果	-	国庫	その他	県債	一般財源
	全体事業内容(主な工種)	立体横断歩道橋 N=1基			158,000	86,900	63,990	7,110
	事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	横断歩行者の安全確保 平面交差の信号現示の適正化による渋滞緩和					
		間接的効果(定量的・定性的)	地域間交流の促進					
	評価の視点	必要性	○交通量:歩行者交通量:247人/日 ○地域生活:目的地からの距離500m未満(新小学校から350m)					評価
○関連計画、重点施策との整合:しあわせ信州創造プラン2.0、信州みちビジョン ○通学路等の指定:通学路交通安全プログラムに位置付け					評価	A		
効率性		○事業期間:2年間(R3~R4)					評価	A
		○近年の交通事故件数:人or自転車×自動車事故発生0件 ○現況の歩道幅員:2.0m以上の歩道あり					評価	B
計画熟度		○事業情報の共有:関係者以外にも周知(R3.1.27事業説明会(書面)を開催) ○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:合意形成が図られている ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック:再評価7-1早期事業完了要望					評価	A
		所管課の意見	地域の合意形成が図られており、また新小学校の設置に伴い、幹線道路を横断する児童が増えることから、事業実施が妥当であると判断する。			採択状況	総合評価	
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見が妥当であると判断する。			○	A			
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	-	評価の決定	事業着手			

佐久総合病院
佐久市役所臼田支所
雨宮病院
新小学校
建設予定地

雨宮病院
新津屋敷

事業概要説明図表

横断歩道利用状況(保育園)

橋長 24500
支間 22000
歩道幅員 5625
歩道幅員 5625

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	国道141号は、山梨県韮崎市から長野県上田市を結ぶ一般国道である。中部横断道へのアクセス道路である上小田切白田(停)線沿いに佐久市により、佐久市臼田地区の統合新小学校が建設中である。新小学校の開校により、国道を多数の児童が横断することから、本事業は、国道141号に立体横断歩道橋の整備を行うものである。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	H30.2.28に臼田地区新小学校建設基本計画が佐久市教育委員会により公表された。また、付近に新小学校が開校されることから、歩行者の保護が求められている。このため、恒常的な渋滞の解消や、歩行者、自転車利用者の安全な歩行空間の確保を要望されている。またR2.3月に佐久市長から建設部長へ要望あり。
③事業説明等の経緯	横断歩道橋の事業計画説明について、地域住民及び関係者への事業説明を令和3年1月27日付回覧文書にて説明を行っている。(新型コロナウイルス警戒レベルが高い状態であったため、書面にて実施)また、新小学校の工事が予定通り進捗しているため、本事業区間も早期の事業化が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	臼田地区新小学校建設基本計画に基づき、新小学校の建設が、佐久市により事業が進められている。佐久市都市計画マスタープランの臼田地区の地区別構想に位置づけられている。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	主たる利用者である学童が利用しやすく、安全な横断歩道橋の整備を行う。また、歩行者の横断による周辺道路の渋滞発生を抑制する。
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により国道を横断する通学児童の安全と、通行車両の分離が図られ、安全が図られる。
⑦その他	

事後・再評価からのフィードバック

再評価7-1早期事業完了要望
子どもの安全確保のため、早急な事業の完了に努める

事業代表地点の緯度経度

北緯:N 36° 11' 31" 4
東経:E 138° 28' 46" 9

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備		路河川名等		(国)143号		
事業毎の通番		2	市町村名	青木村	箇所名(ふりがな)		村松〜当郷	
事業概要	事業目的	一般国道143号は松本市から上田市に至る幹線道路であり、当該地域においては、これまで交通量が多い路線であったが、青木村内での工場誘致や宅地化などにより、通勤車両の増など交通の流れが変わると共に交通量も増加してきている。また、青木小学校や青木中学校に通う児童の通学路に指定されているが、歩道が未整備であり危険な状況にあるため、早期の安全対策が望まれている。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4 いのちを守り育む県づくり(生命・生活リスクの軽減)		事業実施の根拠法令等		道路法		
	関連する事業、計画等	県重点施策(通学路点検要対策箇所) 青木村長期振興計画 上田地域広域幹線道路網構想・計画						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	青木小学校、青木中学校等への通学者、バス乗降者あり。自動車交通量:7,534台/日(H27センサス) 交通量171(149+22)人/12h(H27センサス)						
	着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	7年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
完成年度(見込み)	2027年度(令和9年度)	費用対効果	—	国庫	192,500	その他	—	
全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=920m W=2.5m(片側)			350,000	192,500	—	141,750 15,750	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩行者の安全確保、特に通学児童の安全確保が期待される。						
	間接的効果(定量的・定性的)	第1次緊急輸送路、バス路線の整備 自転車歩行者と自動車との交通事故抑制						
評価の視点	必要性	○現況自動車交通量:7,534台/日 ○現況自転車歩行者交通量:171人/12h(歩行者類149+自転車類22)					評価	A
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:しあわせ信州創造プラン2.0、信州みちビジョン 上田地域広域幹線道路網構想・計画、青木村長期振興計画 ○通学路等の指定:青木村通学路安全プログラムに位置付け					評価	A
	効率性	○事業期間:7年間(R3〜R9)					評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数:人or自転車×自動車事故発生 2件 ○通学路対策:通学路交通安全プログラム(点検箇所) ○現況の歩道幅員:歩道なし					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者以外にも周知 ○地域の取り組み:協力的である ○地域の合意形成:合意形成が図られている ○住民との協働:特になし ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック:再評価 13-8地元調整					評価	A
	所管課の意見	小中学生の通学路にもなっているが、歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、早期の歩道整備が必要であることから、事業着手が妥当と判断する。					採択状況	総合評価
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見を妥当と認める。					○	A	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手			

事業概要説明図表	位置図	横断面図		
	平面図	歩道設置工L=920m W=2.5m		
事業周辺環境	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	一般国道143号は松本市から上田市に至る主要幹線道路であるとともに、災害時緊急輸送道路(1次)に指定されている。このうち当該箇所においては、大型車を含む交通量が多いものの、歩道の未整備区間が続き、歩行者やバス乗降者の安全確保が困難な状況となっている。 青木小学校や青木中学校への通学路としての利用もあるため、早期の対策が望まれている。		
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	令和元年9月に、村長や村議会議員、関係区長、PTA会長、交通安全協会等の連名で、建設事務所に歩道整備の要望書の提出あり。		
	③事業説明等の経緯	・H25〜R3「当郷〜浦野」工区(当該区間の上田市側)において歩道整備事業を実施。 ・R24 青木村長に事業着手への意向を確認。 地元への説明会を行い、合意形成を図る。		
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	県重点施策(通学路点検要対策箇所)に位置付けられている。 青木村長期振興計画において、歩道整備の推進が位置づけられている。		
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	歩道設置により安心・安全な歩行者空間が創出される。		
	⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により沿道の活性化が図られる。		
	⑦その他			
事後・再評価からのフィードバック	再評価 13-8地元調整 ルート検討の早い段階から地権者意向を調整していく		事業代表地点の緯度経度	北緯:N 35° 59' 9" 東経:E 137° 58' 54"

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備		路河川名等		(国)406号		
事業毎の通番		3	市町村名	上田市	箇所名(ふりがな)		菅平高原(すがだいらこうげん)	
事業概要	事業目的	当路線は、上田市と須坂市を繋ぎ、かつ上信越自動車道と観光地である菅平高原を繋ぐ路線でもある。当区間は、近年駅伝合宿を行う大学や実業団数が増加している中、歩道未整備区間を走るランナーと車両のすれ違いが懸念されている。また一部区間は通学路に指定されており、通学者やランナーの通行にあたって危険な状況にあるため、早期対策が望まれている。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4 いのちを守り育む果づくり(生命・生活リスクの軽減)		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律			
	関連する事業、計画等							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	菅平小中学校通学者、ランニングコース利用者等 自動車交通量:3,077台/日(H27センサス)						
事業効果	着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	7年間	事業費(千円)			
	完成年度(見込み)	2027年度(令和9年度)	費用対効果	-	国庫	その他	県債	
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=700m、W=3.5m(片側)			400,000	220,000	162,000	18,000
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学者及びランナーの交通事故の減少が期待される。						
	間接的効果(定量的・定性的)	バス路線の整備、通行車両の交通事故抑制						
評価の視点	必要性	○現況歩行者交通量：40人/日未満 ○目的地からの距離：菅平国際リゾートセンター 80m、市営グラウンド 0m、菅平小中学校 1.2km					評価	B
	重要性	○関連計画、重点施策との整合：しあわせ信州創造プラン2.0、信州みちビジョン ○通学路等の指定：通学路指定あり、上田市通学路安全プログラム位置付けあり					評価	A
	効率性	○事業期間：7年間(R3~R9)					評価	C
	緊急性	○近年の交通事故件数：1件(人と自転車) ○現況の歩道幅員：歩道なし					評価	A
	計画熟度	○事業情報の共有：関係者を中心に周知 ○地域の取り組み：協力的である ○地域の合意形成：事業目的について合意形成が図られている ○PDCA 事後・再評価からのフィードバック：7-1 計画的な事業実施					評価	B
	所管課の意見	通学のための小中学生や、スポーツ合宿等によるランナーが多く通る箇所であるが、歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するために早期の歩道整備が必要であることから、事業着手が妥当と判断する。					採択状況	総合評価
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見を妥当と認める。					○	B	
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	-		評価の決定	事業着手		

位置図	計画横断面図		
事業概要説明図表	①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	一般国道406号は、上田市と須坂市を繋ぎ、且つ上信越自動車道と観光地である菅平高原を繋ぐ路線でもある。当区間は、近年駅伝合宿を行う大学や実業団数が増加している中、歩道未整備区間を走るランナーと車両のすれ違いが懸念されている。また、一部区間は通学路に指定されており、通学者やランナーの通行にあたって危険な状況にあるため、早期対策が望まれている。	
	②地域からの要望経緯及び地域の関わり	(国)406号整備促進期成同盟会より歩道未整備区間への対応を求められている。上田市より小中学校への通学者及びランナーの増加に伴う、安全確保について対応を求められている。	
	③事業説明等の経緯	R2.5 上田市へ説明。 地元説明は今後予定。	
	④他事業・プロジェクトとの整合、関連	菅平高原ロードランニングコースの整備および安全確保。	
	⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	歩道設置により安心・安全な歩行者空間が創出される。	
	⑥地域活性化への影響と配慮	安全で快適な歩道空間の整備により沿道の活性化が図られる。	
	⑦その他		
事後・再評価からのフィードバック	地元の関心は高く、歩道設置が必要である	事業代表地点の緯度経度	北緯: N 138° 20' 01" 78 東経: E 36° 31' 46" 21

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名	交通安全施設等整備		路河川名等	(国)151号	
事業毎の通番	4	市町村名	飯田市	箇所名(ふりがな)	東中央通り(ひがしちゅうおうどおり)
事業目的	当路線は飯田駅前を起点に愛知県豊橋市に至る一般国道であり、飯田市街地への東の玄関口となっている。市街地内で本事業箇所を含む約600m区間が歩道未整備となっており、歩行者は非常に危険な状況となっている。本事業においては、歩道未整備区間のうち、追手町小学校、浜井場小学校のほか、幼稚園、保育園が近接し、特に緊急性の高い交差点部を改良し、歩行者の安全な通行を確保したい。				
しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4 生命・生活リスクの軽減(交通安全対策の推進)		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律	
関連する事業、計画等					
保全対象・範囲 受益対象・範囲	地元住民 追手町小学校 勤労福祉センター 現況自動車交通量:6,540台/日(H27センサス)、現況歩行者交通量:59人/12h(H27センサス)				
着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)
完成年度(見込み)	2024年度(令和6年度)	費用対効果	—		国庫 其他 県債 一般財源
全体事業内容(主な工種)	交差点改良 1箇所(L=60m)			80,000	44,000 32,400 3,600
事業効果	直接的効果(定量的・定性的) 歩道利用者の安全確保、特に通学児童や高齢者の交通事故の減少が期待される 間接的効果(定量的・定性的) 通行車両の交通事故抑制				
必要性	○現況歩行者交通量:59人/12h(H27センサス) ○目的地からの距離:追手町小学校まで450m				評価 A
重要性	○関連計画、重点施策との整合:しあわせ信州創造プラン2.0、信州みちビジョン ○通学路等の指定:なし				評価 B
効率性	○事業期間:4年間(R3~R6)				評価 B
緊急性	○近年の交通事故件数:事故なし ○歩道整備:現況歩道なし				評価 B
計画熟度	○事前情報の共有:H24~H26勉強会開催 ○地域の取り組み:国道151号(谷川線)早期改良促進会結成(H6.11.7結成し、年1回程度総会) ○地域の合意形成:本事業箇所(交差点改良部)は用地取得済み ○事後・再評価からのフィードバック:事後評価7-1-14計画的な事業実施を参考				評価 A
所管課の意見	小中学生の通学路にもなっているが、歩道が未整備かつ構造上問題のある交差点となっているため、安全な歩行空間を確保するため早期の改良と歩道の設置が必要である。			採択状況	総合評価
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見を妥当と認める。			○	B
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手

位置図

平面図

事業概要説明図表

交差点改良

事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は飯田駅前を起点に愛知県豊橋市に至る一般国道であり、緊急輸送路に指定されているほか、飯田市街地への東の玄関口となる重要な路線である。また、当該道路は都市計画道路として決定済みであり、当該箇所を含む前後区間は歩道整備済み。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本事業区間は、付近に小学校や勤労福祉センターがあることから、歩行者の保護が求められている。このため、歩行者の安全な歩行空間確保を要望されている。
③事業説明等の経緯	本事業区間の国道153号線側は歩道整備済みであり、当該箇所の交差点改良と合わせた早期の歩道整備が求められている。
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	特になし(国土利用計画 第3次飯田市計画において、当該地区は都市機能集積ゾーン内にあり地域拠点が近接している。)
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	・自然に調和したのり面保護工(簡易吹付法枠)の実施を検討。 ・国道151号及び飯田市道の交差点部であることから、道路利用者へ配慮した施工計画を策定する。
⑥地域活性化への影響と配慮	・歩車分離により車両と歩行者の安全な通行が確保され、通行の活性化が図られる。 ・歩道整備に伴い、通学路への設定、これまで分断されてきた地域間交流による活性化が期待される。
⑦その他	

事後・再評価からのフィードバック

事後・再評価からのフィードバック	地元の評価は高く、歩道設置を進めていく	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 137° 50' 1.67" 東経:E 35° 30' 45.33"
------------------	---------------------	-------------	--

(様式1-2)新規評価シート

建設部 道路管理課

事業名		交通安全施設等整備		路河川名等	(主)大町麻績インター千曲線			
事業毎の通番		5	市町村名	大町市	箇所名(ふりがな)	大平~矢下(おおだいら~やした)		
事業概要	事業目的	当路線は大町市と麻績村を結ぶ幹線道路であり、車両の通行が多い。しかし、当区間は歩道が未整備で、カーブ区間では見通しが悪いため、車両・歩行者双方の安全に支障をきたしている。近隣には小学校があるため通学路になっており、危険な状態である。そこで、当事業は歩行者の安全確保のため歩道を設置するものである。						
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-4 生命・生活リスクの軽減(交通安全対策の推進)		事業実施の根拠法令等	社会資本整備重点計画法 交通安全施設等整備事業に関する法律			
	関連する事業、計画等	H24通学路緊急合同点検箇所 R1大町市通学路交通安全プログラム						
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	八坂小学校、通学路 現況自動車交通量:1,828台/日、現況交通量(歩行者)136人/日						
	着手年度	2021年度(令和3年度)	事業期間	3年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)		
	完成年度(見込み)	2023年度(令和5年度)	費用対効果	—		国庫	その他	
	全体事業内容(主な工種)	歩道設置工 L=530m			150,000	82,500	60,750 6,750	
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	歩道利用者の安全確保、特に通学児童の交通事故の減少が期待される 車両交通の円滑化が期待される						
	間接的効果(定量的・定性的)	通行車両の交通事故抑制						
評価の視点	必要性	○現況歩行者交通量:40人/日未満 ○目的地からの距離:八坂小学校から200m				評価	B	
	重要性	○関連計画、重点施策との整合:しあわせ信州創造プラン2.0、信州みちビジョン ○通学路の指定:R1大町市通学路交通安全プログラム				評価	A	
	効率性	○事業期間:3年間(2021年~2023年)				評価	B	
	緊急性	○近年の交通事故件数:事故なし ○現況の歩道幅員:歩道なし				評価	B	
	計画熟度	○事業情報の共有:関係者を中心に周知 ○地域の取り組み:R1大町市通学路交通安全プログラムで要望あり ○地域の合意形成:事業目的について合意形成が図られている ○再評価・事後評価からのフィードバック:再評価6~2.5地元調整					評価	B
		所管課の意見	小中学生の通学路であり、大町市の通学路安全プログラムにも位置付けられているが、歩道が未整備であり、安全な歩行空間を確保するため、事業着手が妥当と判断する。			採択状況	総合評価	
建設部公共事業評価委員会の意見	所管課の意見を妥当と認める。			○	B			
県の評価案	事業着手	評価監視委員会意見	—	評価の決定	事業着手			

位置図

平面図

標準横断面図

状況写真

全体計画 L=530m W=2.5m

計画 9.0m

0.75m 5.5m 0.75m 2.5m

至 生坂村

事業概要説明図表

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当該区間は八坂小学校があり、児童の通学路となっているが、歩道が未整備で、カーブ区間では車両からの見通しが悪い状態である。H24に実施された通学路緊急合同点検で当該区間が危険箇所として位置づけられ、H30大町市通学路交通安全プログラムでも同様の位置付けとなっており、歩道設置の機運が高まった。
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	本路線は、大町市八坂小学校の通学路となっており、H24通学路緊急合同点検箇所として位置付けられた。
③事業説明等の経緯	H30.12.4 大町市へ事業説明 R1.7.24 八坂小学校へ事業説明
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	同一路線の大町市側において道路改良が完了し、交通量の増加が見込まれる。
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	生活道路であるため、地域住民および道路利用者に配慮した施工計画を設定する。
⑥地域活性化への影響と配慮	歩車分離により車両と歩行者の安全な通行が確保され、通行の活性化が図られる。
⑦その他	構造物の比較検討を行い、コスト削減に努める。

事後・再評価からのフィードバック

八坂小学校の通学路に該当するため、事業の実施にあたり優先区間や施工時期について八坂小学校と協議を行う。	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 36° 29' 17" 東経:E 137° 54' 29"
---	-------------	---------------------------------------